



2021年12月8日

各 位

会 社 名 株式会社くろがね工作所
 代表者名 代表取締役社長 神足 尚孝
 (コード：7997、東証第2部)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 森 吉武
 (TEL. 06-6538-1010)

特別損失の発生並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年11月期（2020年12月1日～2021年11月30日）において、下記のとおり特別損失を計上する見込みであります。また、2021年5月31日に公表いたしました2021年11月期の連結通期業績予想及び個別通期業績予想につきまして、最近の業績動向を踏まえ下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生

子会社の財務内容を勘案し、子会社への出資に関して子会社株式評価損 60 百万円を計上する見込みであります。連結業績に影響はありません。

2. 業績予想の修正（2020年12月1日～2021年11月30日）

(連結業績)

単位：百万円

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	8,950	25	45	85	49円89銭
今回修正予想 (B)	8,360	△95	△65	△15	△8円81銭
増減額 (B - A)	△590	△120	△110	△100	
増減率 (%)	△6.6	—	—	—	
(参考)前期通期実績 (2020年11月期)	8,217	△243	△252	△508	△298円44銭

(個別業績)

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	8,910	35	80	46円96銭
今回修正予想 (B)	8,320	△70	△75	△44円03銭
増減額 (B - A)	△590	△105	△155	
増減率 (%)	△6.6	—	—	
(参考)前期通期実績 (2020年11月期)	8,170	△250	△500	△294円02銭

(3) 業績予想修正の理由

売上面につきましては、家具関連事業においては延期となっていた大口案件の受注を含め営業活動の量的拡大の結果として顧客件数の減少に歯止めがかけられたこともあり売上高が前期実績を上回る見込みですが、期末にかけて新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による海外調達製品の調達遅延に伴う影響を受けたため予想を下回る見込みであります。

利益面につきましては、上記売上高の減少に加え、鋼材をはじめとする原材料価格の高騰によるコストアップについて、第4四半期は津工場において低迷しておりました生産量が増加したこと、取り組んでまいりました生産部門における直間比率の見直し及び生産ラインの見直し等による加工費の低減等により吸収に努めましたが、原材料価格の高騰が想定を上回ったこと、また新型コロナウイルス感染症の影響による海上運賃等の輸入諸掛が高騰するとともに輸入品を中心とする仕入品の売上高比率が高まる中で為替が円安傾向になったこと等が影響したことにより売上総利益率が低下し、売上総利益が予想を下回る見込みです。販売費及び一般管理費の削減は計画を上回りましたが、売上総利益の減少を補えなかったことにより営業利益及び経常利益が予想を下回る見込みであります。

また、個別業績予想については、前述に記載のとおり特別損失が発生する見込みであることから業績予想数値との差異が発生する見込みであります。

(注)上記記載の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上